

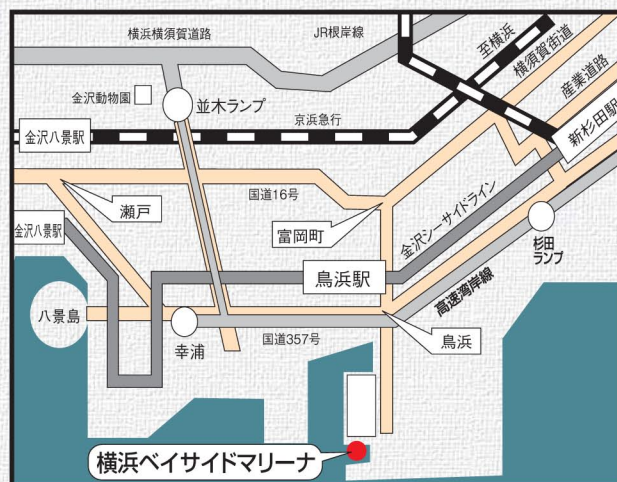
将来の大型化を見据えた日本初の150フィート艇用浮棧橋バースを新設

横浜ベイサイドマリーナ スーパーヨットバース



近年保管係留艇の大型化が顕著になり、横浜ベイサイドマリーナでは利用者の要望に応えるために、2005年と2007年にマキシクルーザー棧橋(80ft~100ft艇用)14隻、2012年にメガ棧橋(100ft艇用)2隻と整備してきましたが、将来の更なる大型化を見据え、浮棧橋保管バースとしては世界でも類を見ない150ft艇6隻の係留保管棧橋を計画し、このたび第1期整備として2隻分の棧橋を完成させました。

- 所在地** 神奈川県横浜市金沢区
- 用途** 大型艇用海上係留施設
- 係留隻数** 150フィートクラス大型艇2隻
- 浮棧橋係留** 鋼管杭による係留
- 係船方法** 補助棧橋(1シップ1バース)
- 付帯設備** 連絡橋、セキュリティゲート、ピアライト、給電給水設備(100A/200V)、救命ラダー
- 供用開始** 平成26年4月
- 事業者** 横浜ベイサイドマリーナ株式会社





主栈橋

アルミ強化フレームによる幅4mの主栈橋は、ダブルローラー構造の内杭ガイドで固定しており、また主栈橋の有効幅員の最大化と景観への配慮から、杭は栈橋の外側一列に配置しています。スーパーヨット専用のセキュリティゲートを設けています。



内杭式ダブルローラーガイド



補助栈橋

スーパーヨットバースの補助栈橋(全長46m)は内杭式の杭6本で支えるレイアウトです。大きなD型防舷材と大型のクロスビットを備え、150フィート艇の1シップ1バースの需要に応えます。



連絡橋

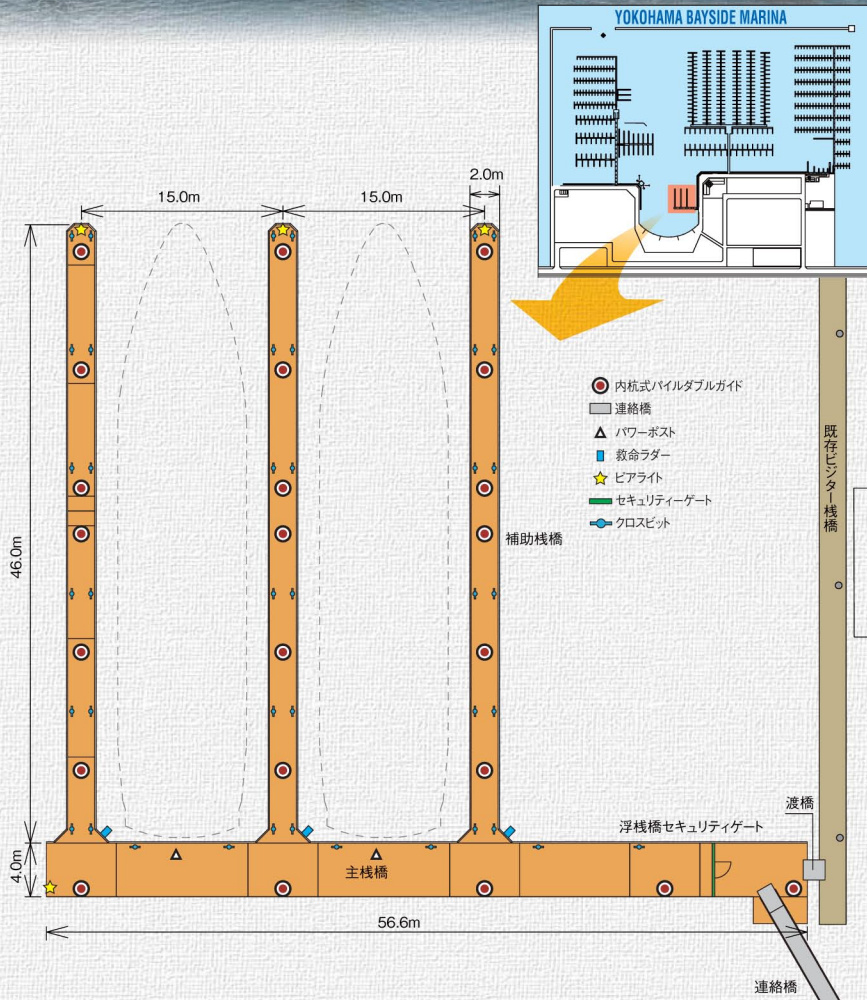
護岸と主栈橋を結ぶ約14mの専用連絡橋は、既存護岸に張り出しデッキを造り、主栈橋と繋げています。



張り出しデッキ



張り出しデッキ構造



パワーポスト(100A/200V)

スーパーヨットクラスのポートでは、100A/200Vのアウトレット(コンセント)のパワーポストが設置されています。1隻に対して最大4個のアウトレットが設置できる設計になっています。



ピアライト

栈橋の先端に大型ピアライトを設置し、夜間航行の安全性を高めます。

大型クロスビット

スーパーヨットの確保に特大のステンレスクロスビットを1隻あたり14個配置しています。

既設栈橋との渡橋

既設のビタ 栈橋と繋ぐ連絡橋と水道連結装置を設置しました。

救命ラダー

利用者の安全確保のために収納式救命ラダーを装備。貝類の付着もなく、船舶の係留にも邪魔になりません。

収納時

使用時

張り出しデッキ
陸上部セキュリティゲート